

令和 元 年度 第2次総合計画 施策マネジメントシート
(平成 30 年度の実績評価)

作成日 令和 1 年 5 月 27 日
更新日 令和 年 月 日

総合計画体系	政策No.	3	政策名	うるおいと活力のある快適なまちの形成	施策主管課	建設部 道路整備課
	施策No.	15	施策名	道路・河川の整備	施策主管課長名	中島 司
施策関連課名				都市計画課、管理住宅課		

1 施策の目的

① 対象(誰、何を対象としているのか) * 人や自然資源等	② 意図(この施策によって対象をどう変えるのか)
市民・歩行者・通行車(二輪・四輪車) 河川・水路	道路を安心・安全に利用でき、移動時間の短縮が図られる。 雨水が適正に処理・管理されることで、災害・水害の発生がなくなる。
対象の大きさを表す指標 ⇒ 2-① 対象指標	意図の達成度を表す指標 ⇒ 2-② まちづくり指標

2 指標の推移、指標設定の根拠等

指標区分、指標名		単位	数値区分	基本計画現況値	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	
① 対象指標	ア 市人口	人	見込み値			72,322	72,001	71,680	71,359	71,038	
			実績値	72,963	72,715	72,305	72,018	71,880	71,602		
	イ 河川の延長	km	見込み値			127.2	127.2	127.2	127.2	127.2	127.2
			実績値	127.2	127.2	127.2	127.2	127.2	127.2		
	ウ		見込み値								
			実績値								
② まちづくり指標	A 市内道路の整備状況に満足していると回答した市民の割合	%	目標値			43.8	44.6	45.4	46.2	47.0	
			実績値	43.4	37.8	39.0	40.0	39.2	46.1		
	B 目的地までの移動時間が短縮されたと回答した市民の割合	%	目標値			55.0	57.0	59.0	61.0	63.0	
			実績値	52.9	58.3	56.4	52.0	52.7	53.2		
	C 補修した橋梁の数	橋	目標値			143	151	155	160	164	
			実績値	9	137	143	147	151	156		
	D 水害の心配がないと回答した市民の割合	%	目標値			54.4	54.8	55.2	55.6	56.0	
			実績値	54.2	59.4	55.1	53.5	55.8	50.9		
	E		目標値								
			実績値								
まちづくり指標設定の考え方		A: 道路整備に関する市民の満足度を示す。 【市民アンケートの『市内の道路の整備状況に満足していますか』において、肯定的回答の割合】 B: 道路の利便性に関する市民の評価を示す。 【市民アンケートの『道路が整備されているため、目的地までの移動時間が短縮されたと感じますか』において、肯定的回答の割合】 C: 橋梁長寿命化計画による安全対策の成果を示す。 【橋梁長寿命化修繕計画に基づき長寿命化対策の補修をした橋梁の数(平成25年度以降に補修した橋梁数の合計)】 D: 河川・水路の整備に関する市民の評価を示す。 【市民アンケートの『住んでいる地域は、水害の心配はないと思いますか』において、肯定的回答の割合】									
目標値の設定の根拠(前提条件や考え方等)		A: 計画的な生活道路の整備と維持管理により、5年間で約4ポイントの上昇を目標設定 B: 計画的に幹線道路等の整備をすることにより5年間で約10ポイントの上昇を目標設定 C: 年次計画により補修した橋梁の数。該当橋梁323に対し10年間で191橋の長寿命化を予定 D: 計画的に河川・水路等の整備をすることにより5年間で約2ポイントの上昇を目標設定									

3 予算等の推移

※当初予算額。骨格予算の年度は6月補正後

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	
関連事業本数	44	42	40	36	38	37	39	
関連事業予算額(単位:千円)	627,256	586,497	690,413	713,003	964,779	776,475	614,017	
(予算額の内訳)	国庫支出金	233,745	203,800	275,014	264,815	246,490	218,049	131,191
	県支出金	17,005	17,072	17,566	18,816	19,326	19,952	21,130
	地方債	162,000	153,800	206,000	195,700	450,600	296,800	168,000
	その他	8,150	8,450	8,450	16,704	8,704	8,704	8,778
	一般財源	206,356	203,375	183,383	216,968	239,659	232,970	284,918

4 評価結果(施策の有効性評価)

① 目標達成度評価 (目標値と実績値との比較)	
<input type="checkbox"/> 目標値より高い実績値だった <input type="checkbox"/> 目標値どおりの実績値だった <input checked="" type="checkbox"/> 目標値より低い実績値だった	※左記の理由 A・Bの道路関係について実績値が下回ったのは、これまでと同じく市民生活に密着した道路修繕の対応や整備に対する要求が強いものがあると考えられます。Cの橋梁修繕については、目標値より下回っています。これは国庫補助の減額が影響しているものと考えられます。今後とも計画的に進めていく予定であります。Dの水害関係では目標値より下回っています。近年の台風等大雨への警戒感からであると考えられます。
② 時系列比較(基本計画現況値からの推移)	
<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した <input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない(横ばい状態) <input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば低下した <input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	※左記の理由 各事業を着実に進めてはいますが、道路関係の満足度指標Aは上向き、Bは横ばい傾向であり、引き続き迅速な修繕対応及び事業中の拡幅道路の早期完成が求められていると感じます。市内道路の整備状況については、その年度において道路が完成した場合や、市道以外の国県道、及び高速道路の供用開始によってデータが上下すると想定されます。Cについては横ばい傾向であります。Dについては前年より減少傾向であります。①で説明したとおり近年の災害等が理由であると考えられます。
③ 他自治体との成果実績値の比較	
<input type="checkbox"/> かなり高い成果水準である <input type="checkbox"/> どちらかと言えば高い成果水準である <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である <input checked="" type="checkbox"/> どちらかと言えば低い成果水準である <input type="checkbox"/> かなり低い成果水準である	※左記の理由 H30年度、甲府市のアンケート結果では道路整備の推進の実感度が約64%、H28年度、韮崎市のアンケート結果では道路交通網の満足度が55%であり、本市の道路整備状況の満足度約46%と比較すると、本市の数値が低いと言えます。これにより他自治体と比較すると、どちらかといえば低い成果水準であると判断しました。

5 まとめ(課題の抽出と解決の方向性)

施策の課題 (現状の問題点)	課題解決の方向性
市民生活に密着した道路整備の遅れ	通学路、生活道路の整備・修繕の対応 地域と連携した道路拡幅工事の推進
道路構造物の経年劣化による安全性の低下	橋梁長寿命化計画に基づく、耐震補強・修繕の推進 舗装長寿命化計画に基づく、健全な舗装管理の推進
台風、大雨等による冠水	排水機場の適正管理 頻発箇所把握